

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立三郷工業技術高等学校)

目指す学校像	「ものづくりの精神」に基づき、豊かな人間性を育成するとともに、学力向上をとおして、生徒の自信を高め、地域に貢献できる技術者を育成する
--------	--

重点目標	1 基礎学力や専門知識・技術の習得を重視し、学習指導を充実させる 2 生徒指導及び進路指導の充実を図り、社会人基礎力を身に付けさせる 3 開かれた学校づくりに取り組み、工業高校の魅力を積極的に発信する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日 平 成 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	現状：基礎学力や家庭学習習慣が身に付いていない生徒が見受けられる 課題：生徒の意欲を引き出し、確かな職業観を育成するため、生徒が主体的に学ぶ機会を増やす必要がある	①基礎学力の向上と主体的な学習態度の育成	①公開授業等により、主体的・対話的で深い学びを促す実践	①「授業内容を理解できた」という生徒の割合75%を達成 ②きめ細かな指導をし、成績優秀者数5%増加、成績不振者10%減少の達成				
			②基礎力診断テストを活用し学力向上につなげる	①結果を把握するとともに前回と比べて向上した生徒が増えたか				
		②専門知識と技術の確実な習得	①資格取得や各種コンテストへの挑戦	①資格取得率やコンテストに参加する生徒が増加したか				
			②外部の教育力を活用	②県教育委員会等の事業に参加する生徒が増加したか				
2	現状：挨拶、身だしなみなどは良好であり、部活動に意欲的に取り組んでいる生徒が多いが、加入率の減少が課題である 課題：授業や資格取得指導などとおして、コミュニケーション能力を高め、集団の一員としての自覚と責任を高める必要がある	①生徒一人ひとりの理解に努め自己肯定感を高める生徒指導の推進	①規律ある生徒の育成を目指した組織的・重点的な生徒指導の実施	①生徒理解に努め、自己肯定感を高める生徒指導の充実 ②登下校時の交通マナーの向上				
			②学校行事、部活動を通じ主体的に学校生活に取り組む態度を育成	①遅刻者の割合が減少したか。 ②「時間を守っている」「挨拶をしている」という生徒の割合が増加したか				
		②主体的な進路活動による就職率・進学率100%の実現	①生徒・保護者に的確な情報提供を行い、主体的な進路活動を実現	①進路実現100%を達成 ②「進路指導が十分に行われている」という生徒・保護者の割合80%を達成				
			②進路先と連携し3年間を見通したキャリア教育を実施	①教職員の企業訪問及び大学等入学説明会への積極的な参加 ②組織的な面接指導、進学補習の実施				
3	現状：開かれた学校づくりのため、積極的に情報提供しているが、生徒募集につながっていない 課題：地域や小中学校関係者にわかりやすく情報提供を行うとともに、PR活動や来校できる機会を増やす必要がある	①積極的な情報提供による志願者の増加	①HPや横断幕等で、授業や学校生活等の特色や魅力、成果について積極的に情報を発信	①生徒募集において、各科志願倍率1.0倍を確保 ②HPをリニューアルし、閲覧数・更新回数増加				
			②出前授業や学校見学会、体験入学等とおしたPR活動を実施	①地元小中学校との連携回数の増加 ②体験入学、学校説明会等における生徒参加者数の増加				
		②地域や小中学校関係者等との連携強化	①地域行事に積極的に参加し、地域連携を強化	①地元の企業や自治体等と連携回数が増えたか				